



## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月12日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東  
コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 及川 智正  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第3四半期の業績（2023年9月1日～2024年5月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	5,292	25.4	55	468.3	60	308.5	48	355.4
2023年8月期第3四半期	4,221	10.2	9	—	14	—	10	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	2.22	—
2023年8月期第3四半期	0.49	—

- (注) 1. 2024年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。  
2. 2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	2,601	972	37.4
2023年8月期	2,418	923	38.2

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 972百万円 2023年8月期 923百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2. 2024年8月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,000	22.1	80	119.1	90	92.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期3Q	22,025,900株	2023年8月期	22,025,900株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	4,271株	2023年8月期	3,970株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期3Q	22,021,797株	2023年8月期3Q	22,022,735株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

近年の全国農業総産出額は、米、野菜、肉用牛等における国内外の需要に応じた生産の進展等を背景に、9兆円前後で推移しております。2022年の農業総産出額は、野菜の作柄不良や米の民間在庫量減少による価格の上昇、畜産における豚や鶏の価格の上昇等から、前年に比べ1,631億円増加し、9兆15億円となりました。近年の生産農業所得は、全国農業産出額の増減はあるものの、3兆円台で推移しております。2022年は、国際的な原料価格の上昇等により、肥料、光熱費の上昇等により、前年に比べ2,428億円減少し、3兆1,051億円となりました。(出典：農林水産省「生産農業所得統計」)。他方で、2023年2月時点の農業経営体数92万9千経営体のうち、個人経営体は88万8千経営体で、前年に比べ5.0%減少した一方、団体経営体は4万経営体で1.5%増加し、団体経営体のうち、法人経営体は3万3千経営体で前年に比べ2.5%増加しております(出典：農林水産省「農業構造動態調査」)。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続し、農業集約化の動きも加速するものと予想されます。

当第3四半期累計期間における青果価格は、猛暑や天候不順の影響により、平年に比べ高い水準で推移してまいりました。一方、当第3四半期累計期間におけるスーパーマーケットにおける青果物の需要は、内食需要の低下や食料品等の相次ぐ値上げ等により低水準が続いているものの、相場高の影響により単価が上昇し、青果物の販売動向は前年に比べ増加いたしました。

このような環境のもと、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、当社の主たる事業である農家の直売所事業及び成長事業である産直卸事業を推進いたしました。前事業年度に締結いたしましたハウス食品グループ本社株式会社とのアライアンスを継続するとともに、ドラッグストアへの販路拡大等、新しい農産物流通の創造に向けた取組みの深化を進めてまいりました。各種値上げ等のコスト増が見込まれる環境においても利益が確保できるよう、流通総額の拡大とともに手数料等の改定を行い、事業基盤の強化に努めました。

このような取組みの結果、流通総額は11,486,189千円(前年同四半期比18.6%増)、2024年5月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は2,072店舗(前事業年度末より77店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は88拠点(前事業年度末より4拠点減)、登録生産者は10,306名(前事業年度末より72名減)となりました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は5,292,490千円(前年同四半期比25.4%増)、営業利益は55,466千円(前年同四半期比468.3%増)、経常利益は60,951千円(前年同四半期比308.5%増)、四半期純利益は48,815千円(前年同四半期比355.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①農家の直売所事業

農家の直売所事業では、当社及び業務委託先が運営する集荷場で登録いただいた生産者から農産物を出荷し、原則翌日にスーパー等の「産直コーナー」で販売する独自の流通プラットフォームを提供しております。

当第3四半期累計期間は、既存委託販売先との取引維持・拡大に加え、集荷場を中心に生産者からの出荷量増加のための営業活動や集荷場運営の効率化を図ってまいりました。また、スーパーでの品揃えを実現するため、品目バランスを考慮した買取委託の増加や兵庫の集荷場における登録生産者からいただく出荷手数料の改定等、事業基盤の強化に努めました。

これにより、流通総額は9,695,586千円(前年同四半期比16.0%増)、流通点数は45,355千点(前年同四半期比1.1%増)、売上高は3,532,234千円(前年同四半期比21.9%増)、セグメント利益は469,440千円(前年同四半期比1.5%増)となりました。

#### ②産直卸事業

産直卸事業では、当社が生産者から直接農産物を買取り、商品の「パッケージ」、売場の「POP」、生産者のおすすめ「レシピ」などで商品の付加価値を可視化し、スーパー等の通常の青果売場である「青果コーナー」で販売しております。

当第3四半期累計期間は、スーパー等の取引先の旺盛なニーズに対応するため、引き続き、全国の産地や市場との連携により商品供給を強化し、既存取引先との取引拡大に伴いストックビジネス化が進展いたしました。

これにより、流通総額は1,790,602千円(前年同四半期比35.2%増)、売上高は1,760,255千円(前年同四半期比32.9%増)、セグメント利益は32,357千円(前年同四半期はセグメント損失7,096千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ183,541千円増加し、2,601,680千円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べ171,311千円増加し、2,157,498千円となりました。これは主に、現金及び預金

の減少1,779千円、売掛金の増加152,832千円、商品の増加15,490千円、その他流動資産の増加5,625千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ12,230千円増加し、444,182千円となりました。これは、有形固定資産の減少5,062千円、無形固定資産の減少24,438千円、投資その他の資産の増加41,731千円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ134,546千円増加し、1,628,933千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ127,927千円増加し、1,320,429千円となりました。これは主に、買掛金の増加134,630千円、短期借入金の減少14,994千円、1年内返済予定の長期借入金の減少4,998千円、未払法人税等の減少945千円、賞与引当金の増加18,041千円、その他流動負債の減少9,189千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6,619千円増加し、308,503千円となりました。これは主に、長期借入金の増加7,205千円等によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ48,995千円増加し、972,747千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加48,815千円、新株予約権の増加180千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の通期業績予想につきましては、営業利益及び経常利益はレンジ形式での公表とし、売上高及び当期純利益は会計処理の異なる委託販売や買取委託の構成比や繰延税金資産の計上等、合理的に見通すことが困難であるため未定としておりましたが、直近の業績動向等に基づき修正しております。

今回修正した業績予想は、食料品やエネルギー価格の値上げに伴う買い控え等の影響により、青果需要は低水準で推移する一方、青果相場は平年に比べ高い水準で推移すると想定しております。このような環境において、買取委託と産直卸事業にて取引量を拡大し、流通総額は15,500百万円（前事業年度比16.0%増）、売上高は7,000百万円（前事業年度比22.1%増）を見込んでおります。流通総額の拡大とともに、出荷手数料の見直し等の利益率向上施策の効果や物流費等の値上げの影響を反映した結果、営業利益は80百万円（前事業年度比119.1%増）を見込んでおります。また、補助金等の収入により経常利益は90百万円（前事業年度比92.5%増）を見込んでおります。当期純利益につきましては、不透明な経営環境が今後も予想されるため引き続き未定とし、今後開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,074,469	1,072,689
売掛金	881,493	1,034,325
商品	15,964	31,454
その他	19,549	25,174
貸倒引当金	△5,288	△6,145
流動資産合計	1,986,186	2,157,498
固定資産		
有形固定資産	79,481	74,418
無形固定資産	117,288	92,850
投資その他の資産	235,182	276,913
固定資産合計	431,952	444,182
資産合計	2,418,139	2,601,680
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	798,693	933,324
短期借入金	48,354	33,360
1年内返済予定の長期借入金	55,434	50,436
未払金	173,140	178,522
未払法人税等	5,531	4,586
賞与引当金	38,864	56,905
その他	72,484	63,294
流動負債合計	1,192,502	1,320,429
固定負債		
長期借入金	285,796	293,001
その他	16,088	15,502
固定負債合計	301,884	308,503
負債合計	1,494,387	1,628,933
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	849,128	849,128
利益剰余金	24,866	73,681
自己株式	△242	△243
株主資本合計	923,752	972,567
新株予約権	—	180
純資産合計	923,752	972,747
負債純資産合計	2,418,139	2,601,680

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	4,221,721	5,292,490
売上原価	2,053,268	2,828,052
売上総利益	2,168,452	2,464,437
販売費及び一般管理費	2,158,693	2,408,971
営業利益	9,759	55,466
営業外収益		
受取賃貸料	720	720
受取保険金	1,118	1,412
補助金収入	4,477	4,105
その他	847	1,098
営業外収益合計	7,162	7,335
営業外費用		
支払利息	2,001	1,828
その他	—	21
営業外費用合計	2,001	1,849
経常利益	14,920	60,951
特別利益		
関係会社株式売却益	—	10
特別利益合計	—	10
税引前四半期純利益	14,920	60,961
法人税、住民税及び事業税	4,291	4,587
法人税等調整額	△90	7,558
法人税等合計	4,200	12,146
四半期純利益	10,720	48,815

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 前第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

当社は、2022年11月29日開催の定時株主総会の決議に基づいて、2023年1月12日付けで減資の効力が発生しており、資本金が496,633千円減少、資本剰余金が496,633千円増加しております。また資本剰余金179,137千円を利益剰余金に振り替えることにより、前期末における繰越損失△179,137千円を解消しております。

これにより、当第3四半期累計期間末において、資本金50,000千円、資本剰余金849,128千円、利益剰余金10,720千円になっております。

2. 当第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	1,390,809	-	1,390,809	-	1,390,809
買取委託販売	1,323,158	-	1,323,158	-	1,323,158
卸販売	-	1,324,400	1,324,400	-	1,324,400
その他	183,352	-	183,352	-	183,352
顧客との契約から生じる収益	2,897,320	1,324,400	4,221,721	-	4,221,721
外部顧客への売上高	2,897,320	1,324,400	4,221,721	-	4,221,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,897,320	1,324,400	4,221,721	-	4,221,721
セグメント利益又は損失(△)	462,281	△7,096	455,185	△445,425	9,759

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△445,425千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用445,425千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	1,368,692	-	1,368,692	-	1,368,692
買取委託販売	1,975,742	-	1,975,742	-	1,975,742
卸販売	-	1,760,255	1,760,255	-	1,760,255
その他	187,799	-	187,799	-	187,799
顧客との契約から生じる収益	3,532,234	1,760,255	5,292,490	-	5,292,490
外部顧客への売上高	3,532,234	1,760,255	5,292,490	-	5,292,490
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,532,234	1,760,255	5,292,490	-	5,292,490
セグメント利益	469,440	32,357	501,798	△446,331	55,466

(注) 1. セグメント利益の調整額△446,331千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用446,331千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。